

平成25年度 関西大学 研修員

研究支援課

学部	人数枠	資格	氏名	期間	主たる研究先	研究内容の概要	備考
法	春学期1名 秋学期1名 の2名以内	准教授	河村 厚	H25.4.1～ H25.9.20	1. 関西大学個人研究室 2. 関西大学総合図書館 3. 自宅	特に二十世紀前半の政治心理学の諸理論をそれが影響を受けた心理学や精神分析学との関係で研究することにより、創成期の政治心理学の諸理論のより深い理解を獲得し、その研究成果を翻訳や論文で発表する。	
		教授	森本 哲郎	H25.9.21～ H26.3.31	1. 関西大学 2. 研究の進展に応じて関係者へのインタビューおよび資料収集のため各地に出張予定。	①、2000年代後半～現在の政党政治に関する基礎資料を整理かつ精査する。②、①に関する先行研究を精査する。③、①に関するこれまでの私自身の研究を再点検する。④、2000年代前半期までの日本政党政治について私が行った長期的構造分析との接合を検討する。⑤、以上の作業を基礎に著書を執筆刊行する(出版社との協議済み)。(注)上記と並行して関連分野での科研(研究分担者)による共同研究も遂行する予定。また本学法学研究所での共同研究にも(採択されれば)従事する予定。	
文	春学期2名 秋学期1名 または 春学期1名 秋学期2名 の3名以内	教授	吾妻 重二	H25.4.1～ H25.9.20	1. 関西大学東西学術研究所、アジア文化研究センター 2. 関西大学個人研究室 3. 韓国高麗大学校 4. 韓国慶尚大学校	本学東西学術研究所およびアジア文化研究センター、個人研究室において東アジアの儒教儀礼、泊園書院を含む書院・私塾史、貴重書アーカイヴズ等の調査・研究を行う。また、韓国の高麗大学校および慶尚大学校を訪問し、資料収集および学術交流を進める。	
		教授	多賀 太	H25.9.21～ H26.3.31	1. 自宅 2. 関西大学個人研究室 3. 関西大学総合図書館 4. シンガポール国立大学(シンガポール) 5. 香港城市大学(中国) 6. リンヒェーピング大学(スウェーデン)	「個人化社会における男性性の再編に関する比較社会学的研究」をテーマに、国内外の文献研究、現地調査、海外研究者との研究交流、学会発表を行う。文献研究は、自宅、個人研究室、関西大学図書館等で行う。現地調査および研究交流については、シンガポール、香港、スウェーデンを中心に行う。学会発表については、日本社会学会大会および海外の男性性研究の国際研究会での発表を行い、2014年7月横浜で開催される世界社会学会でのセッション企画または研究発表のエントリーを行う。	
		教授	原田 正俊	H25.9.21～ H26.3.31	1. 東京大学史料編纂所 2. 関西大学総合図書館 3. 神奈川県立金沢文庫 4. 相国寺史編纂室 5. 国立公文書館内閣文庫	これまでの日本中世史研究に加えて、東アジア社会の動向を踏まえた文化史研究を進展させていきたい。特に東アジア全体における宗教と国家宗教儀礼と共同体の関係について研究を進めていく。また、関連する基本的な文献資料の調査を進め、これまで未紹介の古文書・古記録類の紹介を行っていく。日本国内には東アジア社会との交流の上にもたらされた文物も多数、現存することから、こうした文物の調査研究と文字史料研究をあわせて再検討を行っていく。	
経	春学期1名 秋学期1名 の2名以内	教授	中澤 信彦	H25.4.1～ H25.9.20	1. 関西大学個人研究室 2. 自宅	バークおよびマルサスの政治・経済思想の現代的インプリケーションを主題とする単著の執筆作業を最優先したい。ただし、未完成・発展途上の議論については、関係学会・研究会で中間報告を行うことによって、議論の完成度を高める必要がある。具体的には、研修期間中の2013年7月に開催が予定されているマルサス学会とオーストラリア経済学史学会での研究発表を計画している。	
		教授	中川 竜一	H25.9.21～ H26.3.31	1. 米国の各研究機関(オレゴン大学、オレゴン州立大学等) 2. 英国の各研究機関(ロンドン大学等) 3. 欧州の各研究機関(独フンボルト大学、ヨーロッパ中央銀行等) 4. 豪州の各研究機関(オーストラリア国立大学等) 5. アジアの各研究機関(シンガポール国立大学、延世大学等) 6. 個人研究室	国際的な学術交流に重点を置いた研究方法・体制をとることを計画している。まず、関連する海外の先端的研究者らとの共同研究体制を確立する。具体的には、G.Evans教授(オレゴン大学)、B.McGough教授(オレゴン州立大学)を訪問し、集中的な研究打ち合わせを行う。次に、国際経済学会において研究成果を発表する。具体的には、北米、英国、欧州、豪州、アジアで開催される国際経済学会に出席する。	
商	春学期1名 秋学期1名 の2名以内	教授	笹倉 淳史	H25.4.1～ H25.9.20	1. 関西大学	現在、主たる研究対象としている「イギリスにおける会計とコーポレートガバナンスの関連性」について、その起源と歴史的経緯を跡づけ、今後の展望を明確にしたい。とりわけ数値による財務報告から、記述による報告へ、更に、統合的財務報告への理論的な変遷を跡づけることを主眼に置き、資料の収集と分析を行う。	
		教授	廣瀬 幹好	H25.9.21～ H26.3.31	1. 関西大学 2. 駒澤大学 3. オクラホマ大学	「技師とマネジメント思想」の最終章で論じた、F.W.テイラーのマネジメント思想、すなわち科学的管理の評価を明確化する研究を実施する。わが国における科学的管理に関する評価を整理するとともに、海外とりわけアメリカにおける当該研究の成果を整理し、「F.W.テイラーと科学的管理」(仮称)と題する書物の出版をめざす。	
社	春学期1名 秋学期1名 の2名以内	教授	山本 雄二	H25.4.1～ H25.9.20	1. 個人研究室 2. 関西大学総合図書館 3. 国立国会図書館	G.H.Meadの思想に関する研究を進展させ、教育社会学会にて発表するとともに論文を執筆する。戦後教育政策と学校体育に関する研究をまとめて出版する計画である。	
		教授	安田 雪	H25.9.21～ H26.3.31	1. 関西大学個人研究室 2. 東京大学大学院経済学研究科ものづくり経営研究センター 3. 東京大学総合図書館及び経済学部資料室 4. リクルートワークス研究所	①社会ネットワーク分析方法論の資料収集・学習、②社会ネットワーク分析の応用研究(メディア関連)、③社会ネットワーク分析の応用研究(震災デマ普及プロセス関連)、④社会ネットワーク分析の応用研究(ものづくり工場の地域経済への波及効果分析)、⑤ネットワーク分析アルゴリズム及び分析ツールの資料収集・学習、⑥上記研究成果の国内外における学会報告などを予定。	

※ 規程 第3条第1項による在職年数(平成25年4月1日現在)に抵触するものではありません。

平成25年度 関西大学 研修員

研究支援課

学部	人数枠	資格	氏名	期間	主たる研究先	研究内容の概要	備考
政策	春学期1名または 秋学期1名 の1名以内	教授	奥 和義	H25.9.21～ H26.3.31	1. 関西大学 2. 京都大学経済学部 3. 国会図書館	10月 資料の調査、11月 資料の整理および研究報告の準備、12月 資料の整理および研究報告の準備、1月 学会、研究会での研究成果報告、2月 研究成果の執筆、3月 研究成果の執筆および成果の刊行	
外国	春学期1名 または 秋学期1名 の1名以内	教授	宇佐見 太市	H25.4.1～ H25.9.20	1. 東京女子大学図書館並びに原英一研究室 2. 広島大学図書館並びに要田圭治研究室 3. 京都大学図書館並びに佐々木徹研究室 4. 中京大学図書館並びに榎正行研究室 5. 大阪市立大学図書館並びに田中孝信研究室 6. 金沢学院短期大学図書館並びに小松洋一研究室 7. 国立国会図書館並びに関西館	「日本におけるチャールズ・ディケンズ文学研究の意義」に関して、英国ヴィクトリア朝の文化・社会を活写したディケンズ文学を現代日本において鑑賞し、学ぶことの意義は奈辺にあるかを検証する。また、「日本における英文学研究の歴史」に関しては、日本の英文学研究が明治以来、本質的に内包しているさまざまな問題点を剔抉し、日本の英文学研究の意義と思想に触れ、日本の英文学研究の新たな地平を拓きたい。	
人間	春学期1名または 秋学期1名 の1名以内		被選考者なし				
総	春学期1名 秋学期1名 の2名以内	教授	仲川 勇二	H25.4.1～ H25.9.20	1. 理化学研究所 2. 米国 テネシー大学、ミシシッピ大学 3. ニュージーランド カンタベリー大学 4. 関西大学千里山キャンパス 5. 関西大学高槻キャンパス 6. 自宅	主として理化学研究所に滞在し、姫野龍太郎情報基盤センター長および他の研究員との共同研究を行う。また、必要に応じてテネシー大学Edirishinge教授、ミシシッピ大学Rego教授、及びカンタベリー大学James上級講師との共同研究のために米国およびニュージーランドを訪問する。	
社安	春学期1名または 秋学期1名 の1名以内		被選考者なし				
シス理	春学期1名 秋学期1名 の2名以内		被選考者なし				
環都	春学期1名 秋学期1名 の2名以内		被選考者なし				
化生	春学期1名 秋学期1名 の2名以内		被選考者なし				
法務	春学期1名または 秋学期1名 の1名以内	教授	村田 尚紀	H25.4.1～ H25.9.20	1. 関西大学 2. 一橋大学 3. 名古屋大学 4. 京都大学	①憲法学の方法に関する先行業績の再検討、②1980年代以降のグローバル化の構造分析、③近年のフランスにおけるデモクラシー論の検討、④近年のフランスにおけるマイノリティーの人権問題の検討を行い、そのうえで、比較法的視座に立って、日本の憲法現象分析を目指す。	
会計	春学期1名または 秋学期1名 の1名以内	教授	柴 健次	H25.4.1～ H25.9.20	1. 自宅 2. 関西大学個人研究室 3. 早稲田大学パブリックサービス研究所 4. 関西大学東京センター	初学学習書の研究、中級学習書の研究、上級学習書の研究、企業会計研究書の執筆準備、政府会計研究書の執筆準備	
心理	春学期1名または 秋学期1名 の1名以内		被選考者なし				
国際	春学期1名または 秋学期1名 の1名以内		被選考者なし				